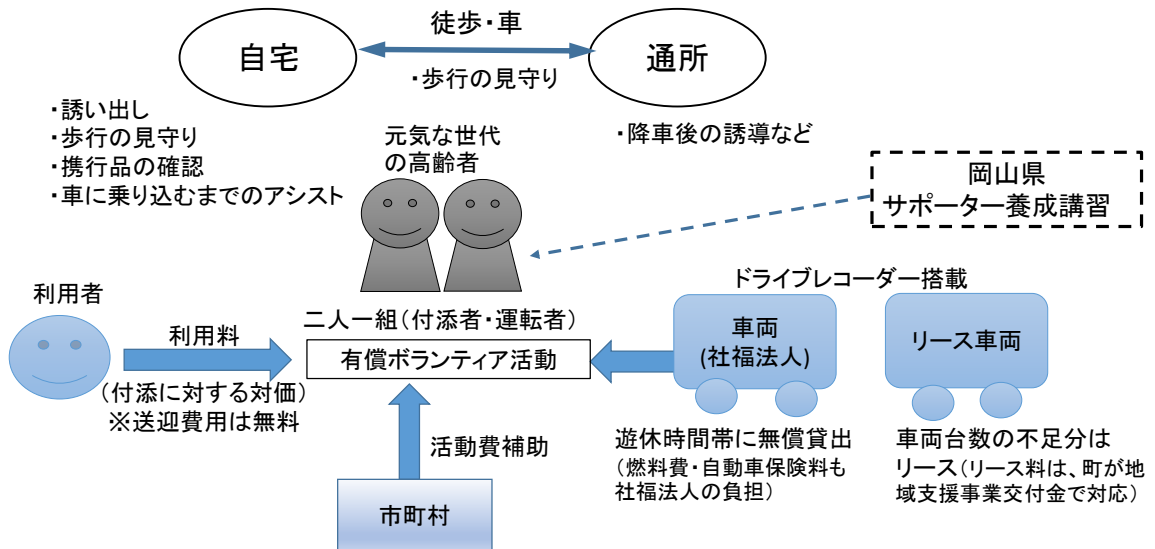


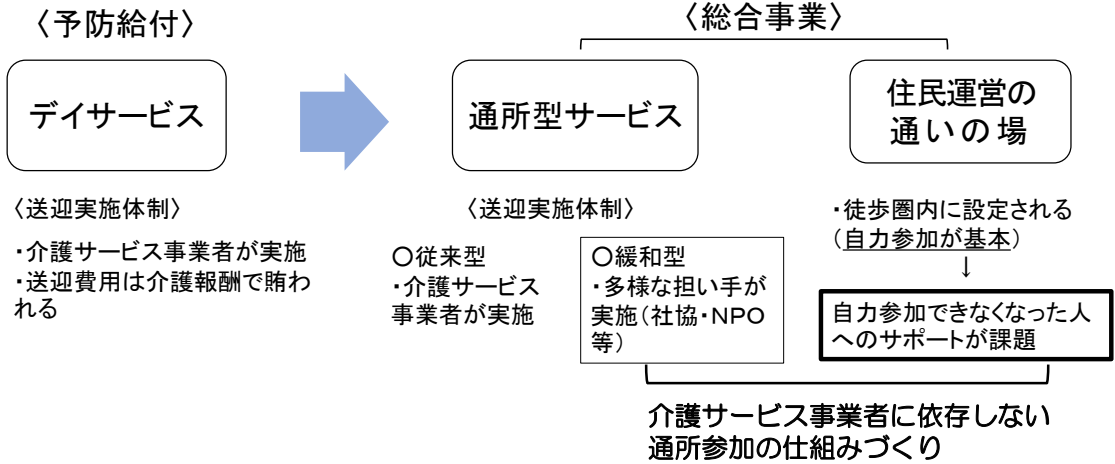
全国初！ 福祉施設車両の遊休時間帯を活用した 住民互助の付添活動の創出により 市町村を伴走支援

岡山県 保健福祉部 長寿社会課

通所付添サポーターは、住民互助の付添活動



総合事業の開始により、通所に自力参加できない人への支援のあり方が問われることになった



市町村の現状は・・・

伴走支援

県

- 高齢者の移動支援は、運輸・警察・多方面の調整がカギ!
- 限られた人員で、企画・調整は至難!



1. 実態調査 遊休時間帯に使用可能な車両 815台
2. スキーム構築 遊休時間帯の車両+シニア世代の担い手=住民互助の付添活動
3. 機関調整 中国運輸局岡山支局、岡山県警察本部
4. 協力関係づくり 通所付添活動検討会(福祉施設・市町村・NPO)
5. 付添サポーター養成 42人
6. モデル事業 アドバイザー派遣、財政支援

モデル事業の結果

利用者の変化

- ◆ 要支援者など 57人
- ◆ 介護サービスに頼らなくても、地域のサロンで元気になった。

担い手の変化

- ◆ 付添サポーター 40人（平均年齢67歳）
- ◆ 担い手に男性が増えた（車の運転が、男性のボランティアデビューのきっかけになっている。）
- ◆ 毎月のミーティングで担い手の連帯感や仲間意識が生まれ、住民活動が活発化

地域の変化

- ◆ 社会福祉法人の車両 2台
- ◆ 社会福祉法人と地域住民のつながりが生まれた。
- ◆ 移動販売車で買い物難民の問題が概ね解決

(参考)

立ち上げまでの準備



サポーター養成講習会



出発式(H29.9.28)

立ち上げ後の様子



モモカフェのランチタイム



サポーターの付添で集いの場へ



毎月1回の
サポーターミーティング

活動を通じて、担い手のみなさんが、
若返っています！

